

臨時議会を7月4日に開きました。

全会一致で可決

工事請負契約の認定や補正予算を慎重に審議しました。

約定
契認

雨水貯留管
新設工事

七、八六六万円

瀬野川左岸の曾田地
区に、一時的に雨水を
貯めることのできる施
設 貯留管の建設工事
業者を決定した。
工事計画などを確認
し、安全で適切な工事
が行われるように町に
求めた。



冠水は少なくなります

海田中学校
グラウンド整備

三、一九五万円

海田中学校にあった
プールを解体し、防災
機能を備えたグラウン
ドとして整備するため
の工事業者を決定し
た。



グラウンドが広くなります

正算
補予

防犯カメラを
設置

三四〇万円

防犯対策強化のため、
海田市駅の自転車等駐
車場、北口などに防犯
カメラを設置する。
防犯カメラの利用目
的は。

基本的には、録画し
た画像を海田警察署
からの照会などによ
り提供する。

カメラの設置予定箇
所の横に交番がある
が、交番から監視は
できないのか。
駅前交番は二十四時
間開いているが、交
番職員の留守時にお
いても監視ができる
よう、警察と協議の
上で設置することに
した。



使用電力量が見えます

電力監視
装置を設置

一六六万円

学校生活と環境のか
わりを学ぶため、県
の補助事業を活用し
て、町内の各小学校に
電力監視装置を設置す
る。



ガードレールがつかます(イメージ)

通学路整備
事業

八〇〇万円

海田小学校の通学路
緊急点検の結果を受け
て、正門周辺に防護柵
を設置する。他の小学
校の通学路も点検し、
順次安全対策を行う。

「ふるさと館の休館に関し」
町長・教育長に対して緊急質問

質問(議員)

地方自治
法第二百四十四条第二
項では、地方公共団体
は正当な理由がない限
り、住民が公の施設を
利用することを拒んで
はならないとあるが、
今回のふるさと館の休
館はこれに抵触するこ
とと思われる。議会は町政
の監視が不十分であつ
たということから、町
民に謝罪をし、責任を
とって平成二十四年七
月分の報酬の減額を
行なった。この問題を執
行部はなぜ避けて通ろ
うとするのか。

質問(議員)

と判断している。今
回の休館については、
教育委員会の周知方法
については課題を残し
たものの、その対応に
法令違反はなかったと
認識している。

答弁(教育長)

昨年度
の秋以降、いろいろと
活用している方につい
ては、来年度は開館が
難しい旨を説明してき
た。また、議員がふる
さと館の使用申請に訪
れた際にも、来年度以
降の開館が難しい状況
があることについては、
説明をした上で、貸館
申請書は受け取ったと
報告を受けている。申
請書の手続きの方法は
この目で確かめている。
ただ自分の認識と議員
の認識が違う状況にあ
り、このことについて
は大変申し訳なく思う。

答弁(町長)

住民の要
望や議会の請願の採択
を受けて計画した畝保
有所建て替えのための
もので、ふるさと館の
休館はやむを得ないこ

審議した議案と各議員の賛否 (平成24年)

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名		大	兼	下	住	宗	桑	岡	西	渡	多	西	崎	前	佐	審	掲
		江	山	岡	吉	像	原	田	田	辺	田	山	本	田	中	議	載
議案名		康	益	憲	秀	啓	公	良	祐	善	雄	勝	広	勝	十九	結	ベ
		子	大	国	公	之	治	訓	三	隆	一	子	美	男	昭	果	ー
七月臨時議会	工事請負契約の締結 (瀬野川左岸排水区竹貞雨水貯留管新設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	4
	工事請負契約の締結(海田中学校屋外環境整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	4
	平成24年度 一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	4
九月定例議会	町道6号線整備早期完了を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	3
	暴力団排除条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	一
	防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3
	平成 24年度	一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	2
		公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	一
		国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	一
	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3

※久留島元生議長は、採決に加わりません。